

教科 科目名	理科	学年・科目群	2年・選択Ⅰ	中学校での学びを生かして、物理分野について広く学んでいきます。化学基礎の学習をとおして、【継続して挑戦する力】および【探究する力】の育成を目標とします。
	物理基礎	単位数（年間授業時数）	3単位（105時間）	

学習目標 ～科目で身に付けられる「ちから」～			物理学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。
三つの柱	(1)	知識及び技能	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
	(2)	思考力・判断力・表現力等	(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
	(3)	学びに向かう力、人間性等	(3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
教科書材	【教科書】数研出版 物理基礎 【副教材等】物理重要問題集 物理基礎・物理		
ポイント	・一部、上位科目の「物理」の内容を取り扱います。 ・考査では、学習事項を元に、科学的に考える問題を出題します。知識偏重にならないように留意しましょう。 ・ノートのサイズや形式は問いませんが、提出の際は綴じて提出してください。 ・予習をしてはいけません。既習事項の問題演習に時間を費やしてください。		
学習評価	評価の観点		
	a	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。
	b	思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーから問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。
	c	主体的に取り組む態度	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

学期	月	単元名	学習内容	このように学ぶことで...	こんな力が身に付きます	評価の方法	時数
前期	4	運動とエネルギー	運動の表し方(※)	・運動している物体のようすを表すのに必要な物理量を理解する。 ・有効数字について理解する。 ・等加速度直線運動のようすを表す3つの式について理解する。 ・水平投射、斜方投射を式で表し、理解を深める。	継続して挑戦する力・探究する力	知 単元テスト	24
	5					思 単元テスト	
	6					態 取り組みの様子	
	7	熱	運動の法則	・運動の三法則について理解する。 ・運動方程式を正しく立てられるようにする。	継続して挑戦する力・探究する力	知 単元テスト 思 単元テスト 態 取り組みの様子	18
	8		仕事と力学的エネルギー	・力学的エネルギーと仕事の関係を理解する。	継続して挑戦する力・探究する力	知 単元テスト 思 単元テスト 態 取り組みの様子	18
	9	波	熱とエネルギー	・絶対温度とセルシウス温度の関係について理解する。 ・熱量の保存について理解する。	継続して挑戦する力・探究する力	知 単元テスト 思 単元テスト 態 取り組みの様子	9
後期	10		波の性質(※)	・振動が伝わっていく現象を波ということを理解し、波源や媒質について理解する。	継続して挑戦する力・探究する力	知 単元テスト 思 単元テスト 態 取り組みの様子	9
	11		音(※)	・音の三要素について理解する。 ・音の性質について理解する。	継続して挑戦する力・探究する力	知 単元テスト 思 単元テスト 態 取り組みの様子	9
	12	電気	物質と電気(※)	・静電気や静電気力について理解する。 ・電流の正体を理解し、電流の表し方と、電流の向きと電子の移動の向きの関係を理解する。	継続して挑戦する力・探究する力	知 単元テスト 思 単元テスト	3 6
	1		磁場と交流(※)	・電磁誘導、レンツの法則などについて理解する。 ・交流について知る。	継続して挑戦する力・探究する力	態 取り組みの様子	6
	2		エネルギーの移り変わり	・エネルギーとは何かについて理解する。	継続して挑戦する力・探究する力	知 単元テスト 思 単元テスト 態 取り組みの様子	3
		物理学と社会					105
教科横断	単元	波	弦の長さ、線密度、張力、波の速さを変えることで音階が変わることを用いて、様々な楽器で任意の音を出すことを通じて理解を深めることを狙いとします。				
	関連	音楽					